

ファシリテーター用シート

子育て世代(乳幼児期～小学生期)対象プログラム展開例

テーマ	大切な「こころ」と「からだ」を守るために ～親子で性について話す機会を作ろう～
-----	--

ねらい	こどもの大切な「こころ」と「からだ」を守るために、また、こどもが、性の被害者、加害者にならないためにはどうしたらよいかを考える。 相談機関や支援センターがあることを確認する。
-----	--

こどもが、性加害者・被害者にならないために保護者としてどうしたらよいか考える。

ワーク1

見られたくない、触られたくない所を○で囲む。

・ 学校では、水着で隠れる部分をプライベートゾーン、プライベートパーツと言います。水着の形もそれぞれですが、一般的な水着として考えてください。

【想定される意見】

- ・ 私は、おしりや胸かな、やっぱり全身だな。
- ・ うちの子は、どこに○印を付けるかな。

◎プライベートゾーン(パーツ)だけではなく、口や顔、その他の部分も全てが大
切であることを確認する。

自分や友達「こころ」と「からだ」を大切するために、どんなことができるか考える。

【想定される意見】

- ・ 早寝、早起き、朝ごはんをしっかり食べて、元気な体になる。
- ・ 日頃から友達と仲良くし、嫌がることをしない。
- ・ 困っている友達がいたら助ける。

ワーク2

こどもが、性加害者・被害者にならないために保護者としてどうしたらよいか考える。

【想定される意見】

- ・ 日頃からこどもの様子をよく見ておく。
- ・ 家族で性について話題にし、いつでも相談できるようにしておく。

※日頃から、こどもと性について語り、性暴力や性被害からこどもを守っていきましょう。

○ 参考:文部科学省「生命(いのち)の安全教育

本プログラムは、家族や親族等から性暴力や虐待を受けている児童生徒やその保護者がいる可能性があることを意識した上で実施してください。

また、学校の性に関する指導の担当者と連携し実施することをおすすめします。

【進行例】

時間等		参加者の活動	進行役の活動 (発言・留意点など)
導 入	7 分	アイスブレイキング ・ グループ分けをする。 ・ グループ内での自己紹介をする。	・ 4・5人のグループを作る。 ・ グループの代表者を決める。
	3 分	テーマ、内容の確認 ルールとマナーの確認 ルールとマナー ・ 参加(積極的に参加) ・ 尊重(意見の尊重) ・ 守秘(個人情報を持ち帰らない)	・ テーマ・内容を伝える。 ・ ファシリテーターの見解に基づくアドバイスは避ける。
展 開	10 分	話題提示 各自の意見 ワーク1は、こどもになったつもりで考える。また、幼児・小学校低学年が学校で学ぶ性に関する指導の導入の部分であることにふれる。 ワーク2は、保護者として考える。	・ 「自分の体の見られたくない、触られたくない所を○で囲んでください。」 ・ 「自分や友達の心と体を大切にするために、どんなことができるかな。」 ・ 「こどもが性加害者や被害者にならないために保護者としてどうしたらよいか、考えてみましょう。」
	10 分	意見交換 ・ グループ内で各自が書いた意見を順に発表する。	・ 「グループの代表者を中心に、順番に発表しましょう。」
	(5) 分	グループ発表 ・ 各グループの代表者が出された意見等を発表する。 ※ 省いてもよい	・ 各グループから出された、キーワードや参考となる意見を挙げる。
ふり かえり	5 分	ふりかえり ・ 話合いの感想や気付いたこと、参考となったことをワークシートに記入する。 まとめ ・ 参考資料より、二次元コードを読み取り、相談機関等があることを確認する。 ルールとマナーの確認	・ 参加者に感想を求めてもよい。 ・ ファシリテーターの意見が押し付けにならないように注意する。